

校長室通信



南小国町立南小国中学校

令和2年3月23日(月) No43号
文責 狭間卓史



「2020年 新しい春」

新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とする突然の臨時休業とさらなる延長、休業期間はもちろんのこと、そのタイミングについても頭の痛いことでした。その思いは各ご家庭におかれても同様であったと思われます。単に休みになっただけでなく、自宅待機でお願いしていただけに、対応にも一層苦慮されたことだと思っています。

学校でも入試や卒業式を控えた三年部はもちろんのこと、二年部や一年部にとっても、最後の仕上げが整わないまま本日の修了式を迎えるという難しい展開となりました。

生徒にとっても次の進学・進級に向けての準備であったり、気持ちを作っていくことが十分に出来なかったことを申し訳なく思っています。

14日(土)の卒業式や、18日(木)の臨時登校日に友人らと久しぶりの会話を楽しむ生徒の姿を眺めながら、あたりまえの日常が特別な毎日の積み重ねであったことにあらためて気づかされた思いがしました。

私は昨年四月からの本校勤務で、南中での生活はこの一年間のことしか知りませんが、日々成長していく生徒の姿と、その背後にあった職員の関わりの姿に間近に接することが出来て幸せな時間でした。

良きリーダーである三年生を中心に、二年生・一年生がそれぞれの持ち味を生かしながら様々な行事に真剣に向き合う姿や、その場の状況に合わせた気持ちの良い挨拶の姿など、そういう姿に日々出会い、清々しい思いにさせてもらえました。

この一年間、全職員で精一杯考えながら取り組んできたつもりですが、必ずしも生徒や保護者の皆さん、地域の方々の意に沿うことばかりではなかったはずです。そのことは先日ご協力をお願いした学校評価の結果からも明らかです。お寄せいただいたご意見をもとに、改善を図るべき点は改め、今後、更なる高みを目指す姿で皆様のご期待に応えていく所存です。

この一年間の本校実践へのご理解・ご協力に心から感謝申し上げますと共に、2020年度も変わることのないお力添えをあらためてお願いいたします。



【 可憐に咲く 】



【 木の香も高さ我が学舎 】



【 新たに創る伝統に 希望の瞳さやかなり 】